

航空機落下物事故に見舞金



～全町民対象に
4月からスタート～

落下物事故の絶滅など、航空機の安全運行については事あるごとに強い運動を展開しておりますが、万が一皆さんが、航空機事故により被害を受けたときの措置として、町では、最高で百万円の見舞金を贈る保険制度を、4月からスタートさせることになりました。

万が一被害を受けた場合は、早めに企画空港対策課までご連絡ください。

対象

成田空港を離発着する航空機の墜落、又は機体の部品や水塊などの落下物事故により、住民基本台帳に登録された町民（外国人登録を含む）が、人身被害

を受けたとき、又は町内にある建築物が被害を受けたとき。

見舞金

◆人身の場合（一人あたり）

死 亡 〓 百万円

入院3週間以上 〓 三十万円

入院3週間未満 〓 十万円

入院を必要としない軽傷

◆建築物の場合（構内あたり）

住宅の全壊又は全焼 〓 五十万円

住宅の半壊又は半焼 〓 二十万円

〓 十万円

前記以外の被害又はその他の建築物の場合 〓 三万円

※詳しいことは企画空港対策課（内線26）へお尋ねください。

新しい化粧

パート1

保健婦の健康アドバイス

4月は就職・進学の新季節です。新しく化粧を始める方も多々あります。そこで、今回は化粧について少しお話ししましょう。

【マッサージ】

マッサージは、皮膚を適度に刺激することによって、いつもでも張りのある、みずみずしい肌を保つために行います。



ところで、筋肉は一本の細い繊維が束ねられて、ひとつの筋肉として働いています。そしてこの繊維は、横からの刺激には非常に弱く、もろいものだと

われています。

マッサージをする時には、筋肉の走っている方向に沿って指をすべらせなければなりません。しかし、顔の筋肉は非常に複雑になっているので、どうしても横から刺激してしまい、小じわを作ってしまうのです。きれいになりたいとマッサージをすることが、結局はしわ作りに一役買ってしまふことになりまふ。そこで、マッサージの代わりに、顔を軽くたたくことを勧めます。この方が、しろうとでも失敗することのない方法です。

横芝の碑

135

苦労の歴史を綴る

土地改良区の記念碑（下）

町文化財審議会委員

小沢春光さん寄稿

両総用水のずい道は、長倉と姥山の境回りとなる峠路の橋の上手で口を開いています。その橋際に、ちよと水田の守り神のような格好で、基盤整備された耕地を見下ろしている土地改良区の記念碑には、次のように記されています。

「横芝町大総地区の水田のうち、その地形上用排水の便に恵まれな、谷津田75町歩の耕地改良を目的とし、時の町長伊藤績夫氏を主班として、昭和32年10月30日千葉県指令第414号をもって認可を得て設立された。この地域は木戸台・取立・長倉・姥山・遠山・中台の丘陵台地に囲まれた低地で、昔から用排水の条件また極めて不良であったにもかかわらず改良策が構じられず、耕作農家は天候の変化に一喜一憂の日を送り、早害にもまた手をこまねいて、その

蹂躪に任すほかなかった。中略。地域の耕作者こそって耕地改良に踏み切ったのである。何より緊急なことは、用水源の確保である。まず地下水の利用に重点を置き、40数か所に鑿井を行い、万全の導水工事を施すとともに、排水路掘開暗渠の埋設、農道の改善補修などを一千万円の工費と2年余にわたる組合員の努力と勤労は、ついに見事に実を結び中略。積年の被災苦はほとんど完全に解消されるに至ったのである。ここに概要を誌して記念とする。昭和45年11月、撰文書、伊藤俊」



栗山川沿いに開け、一見水利には恵まれていたと思われる栗山地域が、案外に湿地帯に悩み、平たんな耕地に見えた北清水水域には、山林原野が入混み、用水路の運用に苦しんでいたことなど、切々として語り伝えようとする各々の記念碑の背面の刻銘は、やはり単なる記念碑ではなく、美田耕地確保の歴史として後世に伝える「碑」なのです。（写真の記念碑は、前回が表面今回が背面で、すべて同姿形です）

※引用した碑の原文は、カタカナ混じり文で書かれています。読みやすくするために、かなづかい・用字を一部改めました。